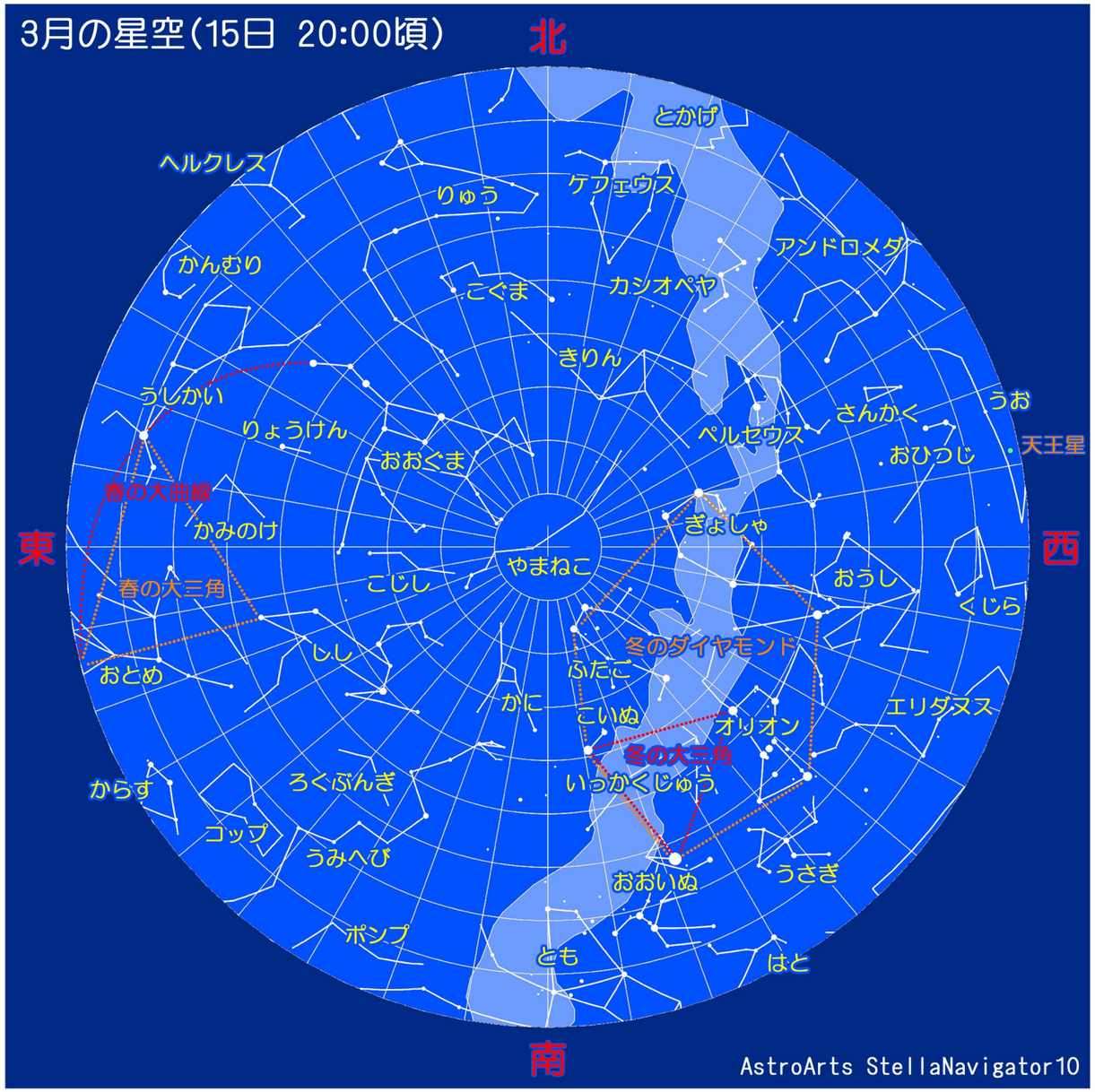
銀河の森天文台
2018年3月みどころ天体情報



月

		出	没
2日	満月	17:25	06:13
9日	下弦	--:--	10:00
17日	新月	05:34	17:11
25日	上弦	10:34	00:57
31日	満月	17:24	05:16

天文台から月を見ることができるのは1～4日、19～31日頃、望遠鏡での見頃は上弦前後です。　距離：約38万km

水星

3月16日に東方最大離角となり、見頃を迎えます。しかし見ることができるのは東方最大離隔の前後の数日に限られます。また、このころは肉眼で日没後の西の低空に微かに光る水星を見つけることが出来ます。

太陽からの距離：約5790万km

M65（銀河）

しし座の後ろ足に位置する銀河で、低倍率ではM66、NGC3628とともに３つの銀河を一度に見ることが出来ます。りくり望遠鏡では、楕円型の光芒が暗黒帯で割れたような姿を見る事が出来ます。

距離：約2700万光年

M44（散開星団）

プレセペ星団と呼ばれ、肉眼でも見ることが出来ます。星団である事を発見したのは、ガリレオ・ガリレイと言われています。アイヌも古くからこの星団を知っており、エルムン・プ（ねずみの倉）と呼んでいました。　距離：約590光年

NGC2392（惑星状星雲）

ふたご座に位置し、毛皮のフードを被ったような姿から「エスキモー星雲」と呼ばれています。わずかに緑がかった青色が印象的で空の条件が良ければ愛称の由来となったフードのような構造も見えてきます。

距離：約1360光年

M37（散開星団）

ぎょしゃ座にある明るい3つの散開星団のひとつでその中でも星の密集度が高く、非常に見ごたえのある星団です。りくり望遠鏡では、視野一面に星々が広がる様子を見ることができます。

距離：約4400光年

かに座ι（イオタ）（重星）

色の対比の美しい二重星と言えば夏の星のアルビレオが有名ですが、春ならばこの星です。かに座の右のはさみのところで輝く４等星で、黄色と青色の色の対比が美しい春を代表する二重星のひとつです。

距離：約298光年

ちょっとマニア

• NGC2903（銀河）

しし座の頭部、獅子の大鎌の先っぽに位置する明るく大きな銀河で、メシエ天体になっていないのが不思議なくらいです。りくり望遠鏡では２本の腕を見ることが出来るでしょう。

距離：約2400万光年

その他おすすめ

- M35（散開星団）
- M46、47（散開星団）
- M66（銀河）
- M97（惑星状星雲）
- アルギエバ（重星）
- カストル（重星）

今月のイチオシ！

☆M82（銀河）

おおぐま座に位置する銀河で、1774年にヨハン・ボーデによって、M81と同時に発見されました。スターバースト銀河と呼ばれる非常に星形成が活発な銀河です。

低倍率ではM81と同時に見ることができ、りくり望遠鏡では、細長い光芒に暗黒星雲のくびれが入った姿を見ることができます。

M82

3・4月の銀河の森天文台カレンダー

3月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

4月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

開館時間
14:00～22:30
（4月～9月）
13:00～21:30
（10月～3月）
休館日